秋田県沖合域の水温状況
（平成29年5月）

漁業調査指導船「千秋丸」により4月27～28日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表　層　　「やや低い」～「平年並み」水温です。

50 m層　　「かなり低い」～「かなり高い」水温です。

100m層　　「はなはだ低い」～「かなり高い」水温です。

200m層　　「はなはだ低い」～「はなはだ高い」水温です。

300m層　　「やや低い」～「やや高い」水温です。

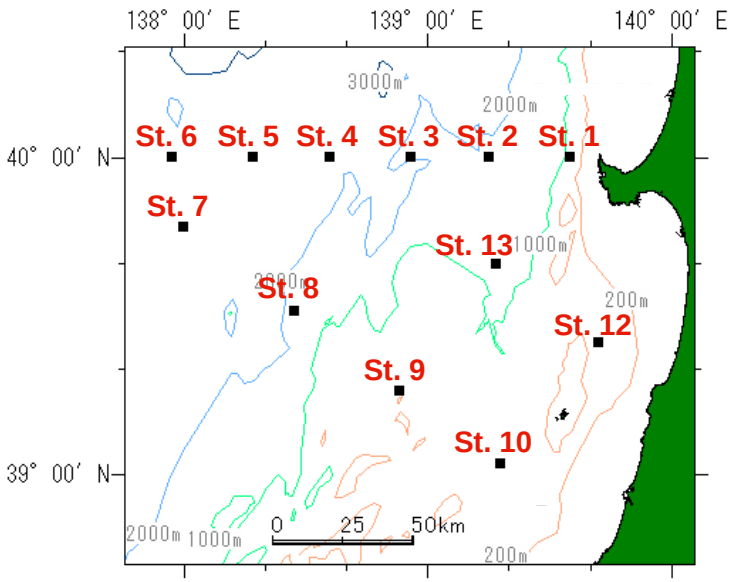


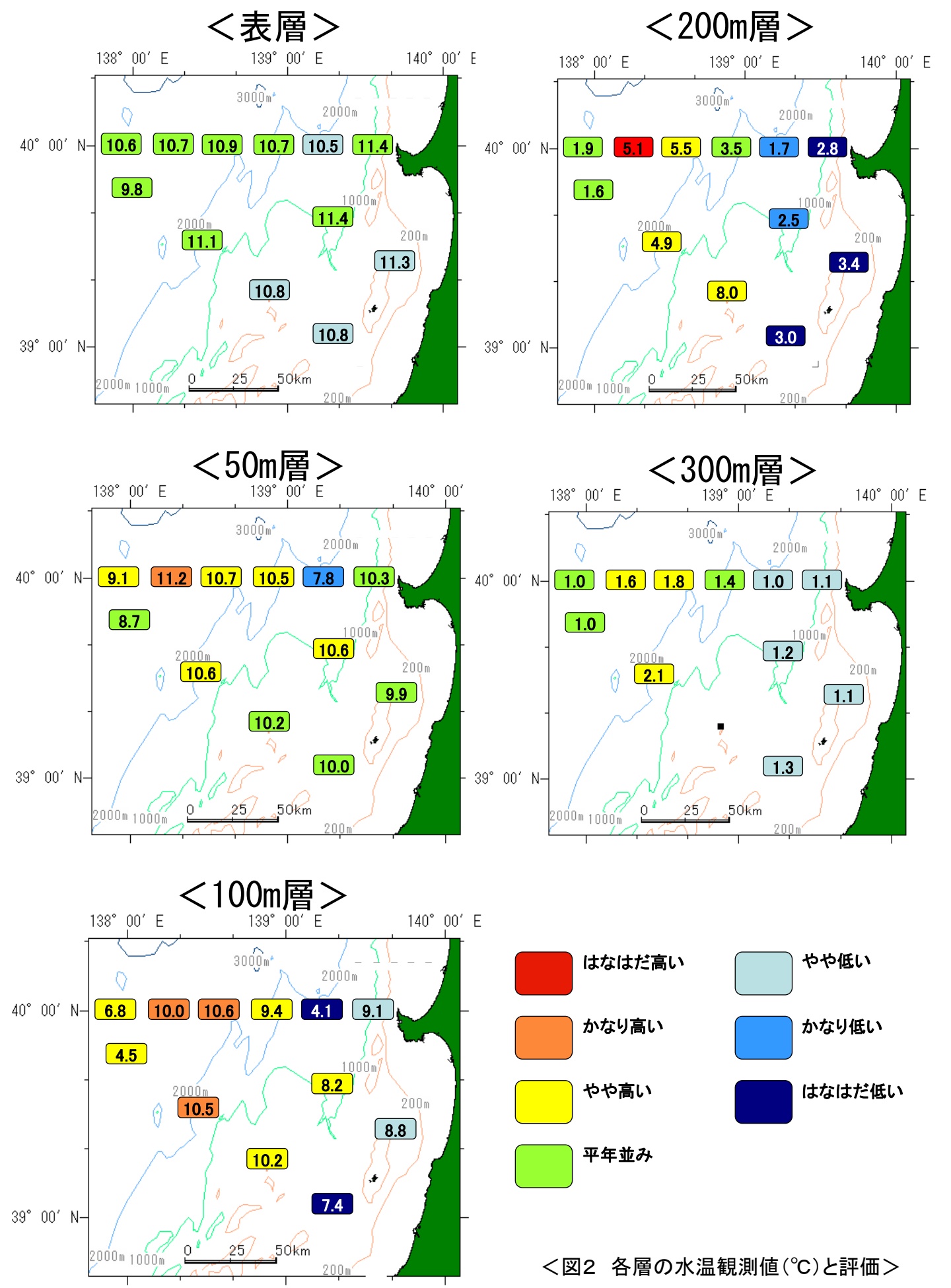
図1　調査船千秋丸による観測定点（St. 1～13）

※St.11は2017年4月から定点除外のため観測を行っておりません。

表1　水温の評価区分

評価	偏差＊	
はなはだ高い	＋200以上	（出現確率約20年以上に1回）
かなり高い	＋130以上200未満	（出現確率約10年に1回）
やや高い	＋　60以上130未満	（出現確率約4年に1回）
平年並み	±　60未満	（出現確率約2年に1回）
やや低い	－　60以上130未満	（出現確率約4年に1回）
かなり低い	－130以上200未満	（出現確率約10年に1回）
はなはだ低い	－200以下	（出現確率約20年以上に1回）

＊偏差＝（観測値－平年値）／平年標準偏差×100
平年：1981～2010年の30年間



＜図2　各層の水温観測値(℃)と評価＞